

JAL争議を支援する かながわ連絡会結成！



支える会通信

8月27日、横浜波止場会館で「JAL争議を支援するかながわ連絡会」が結成されました。

全国で33番目の支援団体となり、「労働者の使い捨て解雇自由を許すことなく、労働者が安心して働く社会実現に向けて、JALし争議は負けられない」と、所属センターの枠組みを超えて神奈川県下の労組・団体で組織されました。

参加者は183名で会場には立ち見もでの盛況ぶり。開演に先立ち、争議が始まつた当初からJALし争議に尽力していただいた支える会事務局次長の原田洋一さん（前日75歳でご逝去）に默とうが捧げられました。（追悼文を参照ください）議案については、神奈川労連住谷議長が一括して提案。

運動方針では、年内解決

発行責任者
柚木康子
大田区羽田
4-10-4
石井ビル3階
TEL03(6423)7878
FAX03(6423)7430
メール
sasaerukai@lemon.plala.or.jp

を目標にして、東京オリンピックのオフィシャルパートナーであるJALに社会的責任を果たすよう求めること、4次にわたりーしの勧告の誠実な履行を求めること、安全優先の取り組みを進めること等が提起され、満場一致で確認されました。また共同代表には全国税制懇談会の浅井裕子税理士、労働弁護団の岡田尚弁護士、神奈川県共闘の川端議長、神奈川労連の住谷議長、全造船関東地協の早川書記長の5氏を選出しました。

集会の最後に団結がんばろうを三唱し、がんばろうの大合唱で勝利解決の決意を固め合いました。



10・9全国代表者会議報告

JAL国民支援共闘主催によるJALし争議の早期解決をめざす全国代表者会議が10月9日午後TKPスター会議室日本橋で支援者38名、争議団28名、

名の参加で開催されました。津恵事務局長より今までの経緯と今後の運動方針が提起され、13名の支援者から「12回の特別協議はばかりにしている。不誠実団交

して労働委員会などに訴えるべきではないか?」「運動はオリパラに集中して大規模の運動を構築すべき。」「1ヶ月から2ヶ月の運動では結集できない。長期的計画で全国決起が必要」「オリンピックがポイント。国際線のある空港で一斉宣伝や代理店要請をしたらどうか。模擬制服でのアピールが効果的。」「労組潰しをはつきり打ち出すべき。全国統一した運動を。」「キャラバンや意見広告など活用してまだ争議が続いていることを知らしめる必要がある。」「文書で行った団交申し入れには文書で答えさえる。不当労働行為の申し立ての構えをみせるべき。」「伝家の宝刀を抜く(ストライキ)意気込みをみせることが解決につながる。」などご意見が出されました。

津恵事務局長から「全般的構えの運動提起。各地である温度差を埋める行動。見せる工夫。オリ

臨時国会が始まる10月4日から議員会館前でのアピール行動と議員要請を行いました。初日は12時より13時で総がかり行動があり、横断幕とのぼりでサイレントアピールを行い、総がかり行動終了後に宣伝行動を行いました。7・8・10日も12時

当該組合からは引き続き社長出席の団交申し入れを行うこと、支援者と運動を大きく連携していくこと、社内世論を高める取り組みを行うことなどが報告され、各争議団団長からは解決するまで頑張る決意が述べられました。

13時に議員会館前で宣言行動を行い、その後にグループにわかつて議員要請を行いました。宣伝行動を行っている議員や、知り合いの支援の方々が通りかかり、激励挨拶をしてくださつたりとアピール度は抜群でした。

4日間で要請に伺つたた。た。

4日から議員会館前でのアピール行動と議員要請を行いました。初日は12時より13時で総がかり行動があり、横断幕とのぼりでサイレントアピールを行いました。総がかり行動終了後に宣伝行動を行いました。7・8・10日も12時

13時に議員会館前で宣言行動を行い、その後にグループにわかつて議員要請を行いました。宣伝行動を行っている議員や、知り合いの支援の方々が通りかかり、激励挨拶をしてくださつたりとアピール度は抜群でした。

4日間で要請に伺つたた。た。

議員会館前アピール行動

<原田さん追悼文>

「原田さん、話が違いますよ！」



國労闘争団全国連絡会議副議長、國労東京闘争団団長で、JAL闘争支える会の事務局次長の原田洋一さん、私が不当解雇撤回闘争で、巡り合った、沢山の尊敬できる、素敵なお方々のおひとりです。こ

れも、不思議な巡り合わせなのか、高校の同窓生と言うことも解り、活動する中、壁にあたったり、悩んだときに相談できる、心の支えもありました。一緒に活動していく中で、「俺は100歳ぐらいまで、長生きしそうだから、あなたたちの解決を見届けて、葬式もだしてやる。」と仰っていました。

「原田さん、見届ける話は？話が違いますよ！」どうぞ安らかに！そして私たちの納得できる解決を見守ってください。

JAL不当解雇撤回争議団 平井洋子

13時に議員会館前で宣言行動を行い、その後にグループにわかつて議員要請を行いました。宣伝行動を行っている議員や、知り合いの支援の方々が通りかかり、激励挨拶をしてくださつたりとアピール度は抜群でした。

4日間で要請に伺つたた。た。



要請に伺つた時に議員が直接会つて話を聞いてくださつたり、後刻議員から直接問い合わせがあつたりと思わぬ収穫もありました。今回の要請をきっかけに議員の皆さんに解雇争議解決に向けての御助力を再度お願いしています。また、かながわ連絡会では独自に10月7日に神奈川出身衆議院議員に要請を行ひ48事務所を訪問しました。

オリパラ委員会の催しで 自民党議員がJAL争議に言及

9月18日、国連大学で2020オリンピック・パラリンピック組織委員会とILO共催によるティーセント・ワーク（人間らしい働き方）実現に向けたフォーラムが開催されました。参加者は約100名、JALの福家（ふけ）人財部長（解雇問題解決に関する協議では会社のトップ）はモニターラーの一人として参加し、企業理念「JA」ファロソフィ、社員の物心両面の幸せ、人権尊重と多様性、女性活躍、「LGBT」など、素晴らしい言葉を並べたてJAへをアピールしました。

4人が発言したあと、東京オリンピック組織委員会の評議委員の馳（はせ）浩衆議院議員が以下の質問をしました。「日本航空の福家さんにお伺いしますけれども、いわゆる不当解雇問題等について現状はどうなつていねのでしょうか。

この問題があまり長すぎるのは良くないことがあります。あと思って見ております。いかがかと、ちょっとお伺いします。

これに答えて福家部長は「2010年に経営破綻し、更正計画の一環で、事業の大幅縮小に合わせて機材の売却、旧株主の皆様には大変な迷惑を受けた。債権の放棄もした。



9月18日 国連大学前で要請行動

て今も続いている、このような状況です。昨年から整理解雇された方も含めてかつて会社に在籍された方も対象にして再雇用の募集ということで続いているがなかなか再雇用に結びつかない、年齢的な面もあつたりして、なかなか思うようならぬというところで解決に至っていない。引き続き

事業の縮小に伴って当時5万人いた社員を3万人にという人員削減の中で、希望退職等もやつたが、人数に至らず、165名の方の整理解雇ということに至った。その後、裁判が起こり裁判自体は終結しているが、支援する皆さんとの間で争議が続いている。労働組合とも協議をすつと続けてきてる。色々ご要求も頂いて立てる中で何か解決する手立てはないかと協議は続けているが、なかなか合意に至らない部分もあって

6月18日、第70期JAし定時株主総会が品川グリースで開催されました。参加者は1149名で、質問者は14名（動議2名含む）でした。支援者株主からは2名が指名されましたが、争議団5名は誰も指名されませんでした。しかし支援者ではない一般の株主2名からも争議解決に関する質問がなさ

JAL株主総会報告

人は一人もいません。公募の年齢基準を超えたのは、JAしが争議解決にのみ出さず、いたずらに時間が経過したからです。

昨年5月以来、12回の特別協議の不誠実さ、解雇問題解決に向けた社長出席の回交にも応じない対応は許されるものではありません。JAしが争議は経営判断すれば、今すぐにでも全面解決できるのです。

(支援共闘ニュースより抜粋)

れ、2年ぶりに行われた国民共闘主催の会場前宣伝行動（約100名参加、約900部のチラシ配布）の影響もみられました。総会では冒頭、初めて議長を務めた赤坂社長が飲酒問題について詫び、取締役全員が立ち頭を下げました。

支援者株主の発言要旨…「安全問題について危惧している。ストレスがかかり

お詫びの話が出されたが、乗務員の労働条件や労働環境がどうだったのか調査されたのかどうか伝わってこない。私自身も解雇されたが既に解決した。JALも業績が回復しているのに何故解決の方向に行っているのか。昨年植木会長は解決すると話していたのにどうなつているのか赤坂社長に聞きたい。」「最高裁で確定した不当労働行為があり、その上で整理解雇された。この点を踏まえたりで争議解決を図つてもいいたい。この争議は経営者の判断でしか解決できない。解決しない限りは争議は続く。それが会社にとつて良いことだけは思わない。オリンピックまでに解決する決断をもつて対応してほしい。」

[IR] や経験者採用に応募いただいたいたが、採用に至らず残念だ。他にも方法がないかずっと考え続けていきたいと心から思つ。その方法については、合理性があって、公明正大でなければならぬないと考へてゐる。

飲酒問題についての質問が多くでました。当該乗員の責任を問う内容はなく、職場環境などを問題視する発言がされました。会社は「再発防止策の実行と社員一人一人に寄り添う」などと答弁しましたが、ロンドンの事件で懲戒免職された乗員は事情聴取さえされていません。飲酒問題は解雇問題の未解決・要員不足・ものの言いにくい閉塞感の強い職場環境と決して無関係ではありません。



年末までの解決に向けた取り組み

代で2名そろえれば行つて
います。支援の方も日中
の忙しい中かけつけて下
さり、激励の挨拶もいた
だいています。連日の行
動は初めてですが、年内
に解決を！の強い意志を
示すために頑張っていま
す。ご参加いただける方
は、行動日を事務局に確
認の上ご参加ください。

い
ます。それに先駆けて
日～8日には17時～18時
に争議団と航空労働者によ
るストライキが実行され、
10日のアピール行動には是
非ご参加ください。

12月9日18時半から天王洲アイルのJAL本社を囲む大包围行動を行いました。12月9日は解雇通知をつきつけられた争議団にとって最も悔しい日です。これまでを上回る結集でJALに解決の決意を迫ります！是非お誘いの上、多数ご参加くださいますようお願いいたします！

連日成田の事務所前で
はビラを配布し職員に宣
伝を行つていますが、年
内解決をめざして人数を
倍増させる集中日を10月
14・16・17日に設け、期
間限定のゼッケンを付け
て配布しました。

成田・羽田集中ビラ行動・
11月10日の羽田アッピー
ルに結集を！



5月30日 TAI 本社前要請・大匂田行動